

第 6 回板橋区荒川市民会議

●開催日

平成 25 年 3 月 19 日 (火)
午後 18 時 00 分から午後 20 時 00 分

●開催場所

板橋区役所 9 階 大会議室 A

●出席者

11 名 (全構成員 : 13 名)

●議題

1. 開会
 - 1) 開会の挨拶
 - 2) 資料確認・次第説明
2. 議事録概要作成委員の選出
3. 議事内容
 - 1) 地区別計画に基づく再整備について
4. 報告事項
 - 1) 舟運利用促進シンポジウムの開催について (資料 1)
 - 2) 第 6 回東京低地河川活用推進協議会について (資料 2)
 - 3) 荒川の将来を考える協議会ホームページ (資料 3)
 - 4) 工事情報 (資料 4)
 - 5) 第 9 期委員募集の状況
5. その他の報告事項
 - 1) 平成 25 年度荒川河川敷を利用する区の行事 (資料 5)
6. 閉会
 - 1) 閉会の挨拶



2. 議事録概要作成委員の選出

3. 議事内容

1) 地区別計画に基づく再整備について

板橋区) 資料「生物生態園・中規模自然地の整備について」説明

委員) ワークショップ開催スケジュールの見通しを教えてください。

板橋区) 月1回を考えています。9月から1月まで5回程。

委員) ということは1月には結論を出すか?

板橋区) はい。

委員) ワークショップにこられる方に、過去の生物生態園に関する活動等の状況を充分踏まえて、臨んでほしいと思うが、5回の進行はどのように計画されているのか。

板橋区) 1回目は現地見学し、今までの経緯等も理解していただいた上で、2回目以降に具体的な内容の検討に入って行きたい。

委員) 1回のワークショップの時間は。

板橋区) 約2時間です。

委員) その2時間で、初めて参加する方に周知することができるか。

板橋区) 事前に資料を作成し、十分に理解していただこうと思います。

委員) 1回目が現地観察、そこでの質疑応答、そして過去の活動経緯の説明、2回目以降は具体的な討議に入る、こういう内容でよろしいか。

板橋区) そうです。

委員) 本当にそれでできるのかという不安がある。

板橋区) 資料を作りよく読んでいただき、共通の認識を持っていただきたい。

委員) コーディネーターのような方は頼んでいるのか。

板橋区) 委託設計の中で、ファシリテーターという肩書で考えている。

委員) 基本設計と実施設計というのはどう違うのか教えてください。

板橋区) 基本設計は、ある地域をどのようにしていこうか、方向を決める作業で、実施設計は、それに寸法を入れていき、実際いくらかかるのか計算する段階。

委員) ということは、おおよその予算はすでに決まっているのか。

板橋区) 工事の予算については全く決まっていません。実施設計で弾いて、そこから予算の請求をしていく、という段階。

委員) ワークショップで区民の皆さんが、色々な希望が寄せられ、それを基本設計の段階で調整し、26年度の段階ではある程度予算が決まるので、その枠の中で、実施設計が決まっていく、ということか。

板橋区) 25年度の基本設計段階では、全部は決められないかもしれませんが、おそらくは出来るでしょう。その上で予算がついた段階で実行していく。

委員) あまりここで予算を取ると、他の事業に予算が行きづらくなり、あまり荒川に関心のない層からの不満が出るのではないかと。荒川の予算枠をある程度決めてほしい。

板橋区) そのようにしたいと思います。

委員) どういう資料を作成するのか。過去の市民会議において、生物生態園についての、水辺の会の計画、それについてはご存知か。

板橋区) それについては皆さんに提示していきたいと思っています。

委員) 今までの経緯、市民会議で議論された内容の資料ということですね。

- 委員) おおよそでいいが、期限5年計画とか、目処があった方が、先延しにならなくてよいのでは、あと、ワークショップのメンバーは30人と聞いたが、予定は？
- 板橋区) ワークショップのメンバーは30人程度、工事の完成はH32年頃、地区別計画は10年でということでしたので、そこを目指します。
- 委員) ワークショップには我々も入れるの？
- 板橋区) 区内在住、在勤の方でしたら。
- 委員) ファシリテーターはどんな方か？
- 板橋区) 大学の准教授クラスの方を考えています。
- 委員) まだ市民会議委員は2年の経験しかないが、この2年間で感じたことは、早く何か一つでも実施してほしいと考えています。
- 委員) ワークショップと市民会議の関連性は？
- 板橋区) 市民会議では、ワークショップの報告をさせていただきます。ご意見のある方はワークショップに参加していただきたい。
- 委員) 会議で決まったことも、全部中途半端。最後まで責任を持ってやってもらいたい。
- 委員) 色んな人に意見を聞くのが重要だと思う。色んな人に話をしてもらい、色んな意見を聞けば、いいものが出来ると思う。
- 議長) 今回のようなワークショップ形式の事例はあるか。
- 板橋区) 何例かあります。今年度も、西徳第二公園の改修について、ワークショップを開催しました。公園ということで、半径250mの範囲でビラを配布し、メンバーを募集しました。こちらは規模が大きいので、インターネット、広報いたばしでの募集を考えています。
- 議長) 今の例だと、大体何人位で、どの位の回数を行なったのか。
- 板橋区) 26人の方にご参加いただき、5回開催しました。
- 委員) 成増での大きなあれを、ワークショップでできないかということがあった。
- 板橋区) ワークショップによる板橋区の公園整備については、平成10年度から、14件の実施例があります。進め方は先程説明があったように、月1回を5回開催して基本設計の案をまとめました。今年度については、西徳第二公園において、目の不自由な方、車椅子の方にもご参加いただいて、整備計画をまとめました。板橋区においては、ワークショップの十分な実績があるとお考えいただきたい。
- 委員) 荒川のことなので、環境等色んな関係部署の関与も必要かと思うが、みどりと公園課単独でやるのか。
- 板橋区) 今は単独で考えています。
- 議長) 日常使っている人もワークショップに参加できるように考えて欲しい。
- 委員) 先日、渡良瀬の火入れをしたが、そういうこともやってほしいと思うが、かなり広い範囲での行政のバックアップが必要で、みどりと公園課だけでなく、もっと幅広い対応を、と思う。
- 板橋区) みどりと公園課だけと言いましたが、色々な話が出れば、私たちだけで分からないこともあるので、関係部署、他の役所等にもオブザーバーとして参加をお願いすることもあるかと思えます。
- 委員) 小学校などでは、荒川の河川敷に行かないようにという指導をしている。折角の中規模自然地やワンドを、板橋の人達に有効に使ってもらいたい。板橋区全体で、荒川の河川敷が貴重だという認識を持ってもらいたい。そういう意味では環境だ

けでなく、教育からも、この計画に参加してもらい、生徒が使える場所にしてほしい。あれだけの自然は驚きを持つと思う。その驚きを幼少の頃に持つということは重要なことだと思う。

あと、計画はするがいつ出来るか分からないではなく、姿が見たい。7年は長過ぎると思うが、初年度はこう、2年目はこう、という計画書を早めに出して欲しい。

委員) 教育委員会あたりから参加をお願いしたいと思う。

平成25年度基本設計、26年度実施設計で、32年度完成ということだが、その間の体制、やり取りを考えてほしい。

議長) ワークショップ自体をどう進めていくかということを考えて、実のあるものにしてほしい。来期の市民会議にもあり方にも関わるが、この整備計画をどのように討議していくか、関連性についてご意見があれば。

委員) 新年度の委員には、是非現地観察を行なってもらいたい。

委員) 今ある荒川河川敷の姿は、市民会議において議論した結果であり、ワークショップの参加者も、事前に勉強してから参加して欲しい。

議長) 市民会議の成果はワークショップにも提示していただきたい。

委員) 先程、河川敷に行っただけではいけないという指導の原因はというと、川を見る前にブルーシートがあちこちにあるから、という問題がある。

委員) 学校にお任せするからいけない。我々が一緒に行って見学、検査などをして、指導する必要がある。

委員) ワークショップでどのようなことが話されたか、どんな人が来たかということは非常に気になる。色々な意見を出す場としては、我々がワークショップにメンバーとして参加する必要は必ずしもなく、オブザーバーとして参加して、色々な意見交換ができればよいと思う。

議長) 我々が10年以上議論してきた内容をワークショップで説明していただければと思う。

板橋区) ワークショップ1回目の現地観察の際に、今までの市民会議での議論を踏まえて、提案等をしていただけたらと思います。

あと、オブザーバーというのは、その場で意見を述べる立場ではないので、内容については出来る出来ないも含めワークショップに提供するが、実際に誘導するようなことはしない。その点はファシリテーターなり参加者なりに任せたい。なので、是非ワークショップに参加して意見を述べていただきたいと思います。

委員) ワークショップに参加するような方は自発的に色々な案をだすと思うので、お任せしてみて、とりあえずやってみたら、いいものができると思う。

4. 報告事項

1) 舟運利用促進シンポジウムについて

2) 第6回東京低地河川活用推進協議会について

荒 下) 資料-1、2を併せて説明

3) 荒川の将来を考える協議会ホームページ

荒 下) 資料－3 説明

委 員) 第5回でナビゲーションマップの作成について議題があったが、第6回ではその後何か発展があったか。

荒 下) 紙以外にも、現在地が分かるようなスマートフォンのアプリも作成を予定している。概ね完成しているが運営方法について協議中。近いうちには発表できる予定です。

4) 工事情報

荒 下) 資料－4 説明

荒 下) 護岸のたわみのひどい箇所は、この140m区間で、上下それぞれ600mにわたっている。ひどい箇所から手をつけている状態。

委 員) もし北区のような階段状の設備も考えているのなら、仮復旧後ではなく、併せて考えていってもらった方が効率的では。

荒 下) 今後、ワークショップのオブザーバーとして一緒に入っていきたい。

議 長) 今度のワークショップでもこの話題を入れていただきたい。

5) 第9期委員募集の状況

事務局) 説明

事務局) 広報いたばし・みどりと公園課のHPに掲載

現在9名(現8名+新1名)

審査が進んで現在最終段階に入っています。

4月には決定した委員への通知をします。

5. その他報告事項

1) 平成25年度荒川河川敷を利用する区の行事

事務局) 資料－5 説明

板橋区花火大会が抜けていました。8月3日(土)の予定です。

委 員) 渡良瀬遊水地での火入れの資料を、次回会議で出してほしい。

事務局) 第1回は6月を予定しています。その前に運営会議を行ないます。

第9期委員ですが、今回出席されている方で応募されてない方がいますが、いかがでしょうか。後ほどでもよろしいので個別に御相談いただければ。

6. 閉会